



### おさとぼうしうり

エズフィール・スロポドキーナ さく・え  
まつおかきょうこ やく 福音館書店

スロホ

品物をぜんぶ頭の上のせて歩くぼうし売りがいました。ある日のこと、ぼうし売りが木の下で昼寝して、目覚めるとぼうしがありません。犯人は木の上のおさるでした。どうやって取り返すのでしょうか。

### おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん

長谷川義史 作 BL出版

ぼく5歳。ようちえん。たんぼぼくみ。ぼくのおとうさん、38歳。休みの日には、つりに行きます。ぼくのおじいちゃん、ぼくのおとうさんのおとうさん。72歳。白いひげがはえています。じゃあ、おじいちゃんのおとうさんはどんな人かな？

ハセカ



### おじさんのかさ

佐野洋子 作・絵 講談社

サノ

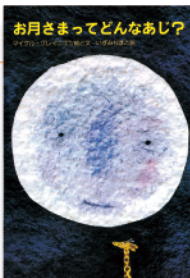
おじさんは、黒いりっぱなかさを持っています。とても大切にしているので、雨が降ってもかさをさしません。ある日、子どもたちの「あめがふったらポンポロン、あめがふったらピッチャンチャン」という歌につれられて……。

### お月さまってどんなあじ？

マイケル・グレイニエツ 絵と文  
いずみちほこ 訳 セーラー出版

クレイ

「お月さまってどんな味だろう？」動物たちは、お月さまを見るたびに疑問を抱いていました。協力し合って月に近づく動物たちと、逃げるお月さまのゲームの行方は……。温もりを感じるイラストで描かれています。



### おぼけドライブ

スズキコージ ビリケン出版

ススキ

おぼけ宝くじで一等賞のスポーツカーが当たったヘイザくんは、さっそくガールフレンドのカーアコさんとドライブに出かけました。次々とおぼけが現れるのももともせず、ヘイザくんのドライブは続きます。迫力ある絵が、不思議な世界へいざないます。

### おぼけパーティー

ジャック・デュケノワ さく おおさわあきら やく  
ほるぶ出版

テユケ

おぼけのアンリが友だちみんなを晩さん会にご招待。食べたり飲んだりするたびに変わる、おぼけの淡い色彩が目を楽しいお話です。同じ作家の作品に、古い友人だったおじいさんとライオンの再会を描く「おじいさんとライオン」もあります。



### おぼけりんご

ヤノシュ さく やがわすみこ やく 福音館書店

ヤノツ

ワルターのりんごの木が、念願の実をつけました。けれどもそれは、巨大なおぼけりんご。ワルターは始末に困ってしまいます。その頃、恐ろしい竜がこの国に現れて、贈り物でだまして追い出すことになったのです……。

### おふろだいすき

松岡享子 作 林明子 絵 福音館書店

ハヤシ

まこちゃんとおひろのフッカがお風呂に入ると、亀やペンギンやオットセイやかばやくじらが、お風呂からぞくぞく現れます。くじらのシャワーで体を流して、みんなでお湯につかりましょう。きみはお風呂が好きですか？



### おやすみなさいフランス

ラッセル・ホーバン ぶん ガース・ウィリアムズ え  
まつおかきょうこ やく 福音館書店

ウイリ

もう寝る時間なのに、フランスは眠くありません。トラが出るかも、大男がいるかも……暗い部屋は心配事がいっぱい、余計に眠れません。あなぐまのフランスのシリーズに、「ジャムつきパンとフランス」もあります。

### おりこうなアニカ

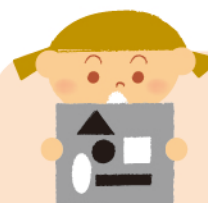
エルサ・ベスコフ さく・え  
いしいとしこ やく 福音館書店

ヘスコ

田舎の小さな家に住むおりこうなアニカは、壊れた柵からめうしが逃げないように、見張りをするようになりました。野イチゴの赤、牧場の若草色、エプロンの白と、春らしい優しい色彩の絵本です。



## ちょっとひとやすみ ④



色彩豊かな絵の絵本は、確かに眼を引きます。しかし、白黒の絵であっても、子どもたちの心をつかんで離さないものもあります。その絵が物語を語り、絵を見ただけで話の筋が読み取れるものです。優れた画家といわれる人たちの絵は、ページのすみずみまで子どもの目を、心を楽しませてくれます。